

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22043	事業名	健康都市大学創設・運営事業			
	事業手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()					
	施策体系	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実		予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	01:健康づくりの推進と地域医療の充実			款	04:衛生費
		施策の方向	01:「健康都市」の推進			項	01:保健衛生費
	重点プロジェクト	01:「健都さぶり+」プロジェクト		目	01:保健衛生総務費		
事業期間	R 4 年度	～	R - 年度	主な根拠法令等	-		

評価分類		A1
------	--	----

担当部署	
部	健康福祉部
課	健康推進課 健康増進G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、すべての市民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会にするためには、健康都市政策や免疫力向上、コミュニティの強化などを体系的に図ることで、『真の健康都市』の実現につなげなければならない。	亀山市在住または通勤若しくは通学する者(18歳以上)	『緑の健都かめやま』の実現に向けて、市民の主体的な健康づくりや健康都市の考え方の浸透を図る。	WHOの提唱する健康都市の実現に向け市民のヘルスリテラシーの向上を図るため、健康に関する知識の習得と実践の場として「かめやま健康都市大学」を創設する。また、修了者のうち希望する者を「健都サポーター」と位置付け、自身の主体的な健康活動を促進するとともに、地域での健康活動の拡大に向けた人材育成を目指す。

③事業の実施状況（P・D）

年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
事業計画		○先進地視察 ○事業イメージの見える化 ○既存講座の調査・関連性の整理		○開校・各種講座の周知 ○開校式 ○各種講座の実施 ○修了式		○選択コース(健康・食・運動) ○必須コース(健康都市) ○運営協議会の開催 ○修了式 ○健都サポーターの活用		○選択コース(健康・食・運動) ○必須コース(健康都市) ○運営協議会の開催 ○修了式 ○健都サポーターの活用		
活動実績 (計画通り実施できたか)		「かめやま健康都市大学」の令和5年度創設に向け、先進地視察による調査研究、創設式(イベント)の立案、開講講座の講師依頼、大学のコース設定等の方向性を決定したことで事業イメージが見える化することができた。また、併せて既存講座についても調査を行った。		令和5年10月にかめやま健康都市大学を創設し、創設記念イベントを開催するなど周知を行った。開校後はコースごとに講座を実施し、予定定員を上回るのべ211名が受講した。3月には修了式を行い、のべ171名が修了し、うち64名が健都サポーターとして登録した。また運営協議会を開催し、委員から次年度講座のテーマや今後の方向性への意見をいただいた。		令和6年7月にかめやま健康都市大学第二期スタートイベントを開催し、以降、「健康」「食」「運動A・B」のコースごとに講座を実施した。受講者数のべ227名のうち121名が修了し、第1期と合わせて79名が健都サポーターとして登録を行った。さらに4つのWGを設置し、地域への健康活動の拡大へとつながった。また、運営協議会を開催し、委員から次年度の方向性への意見をいただいた。		令和7年6月からかめやま健康都市大学第三期を開講し、以降、「健康都市」「健康」「食」「運動」の各コースの講座を実施した。受講者数のべ207名のうち116名が修了し、第1期～第3期で通算84名が健都サポーターとして登録した。健都サポーターを効果的に育成し、地域で自立した活動を行えるよう、令和7年9月からアドバイザーを設置し、健サポ会議やWG活動等を通じた育成支援を行った。また運営協議会を開催し、委員から次年度の方向性への意見をいただいた。		
計画額	事業費	800千円	701千円	6,000千円	6,000千円	5,800千円	3,951千円	2,300千円	2,210千円	
	国・県支出金		0千円							
	地方債		0千円							
	その他		0千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	2,120千円	227千円	
	一般財源	800千円	701千円	3,000千円	3,000千円	2,800千円	951千円	180千円	1,983千円	
決算額	事業費		412千円		5,668千円		3,576千円		2,051千円	
	国・県支出金		0千円		0千円		0千円		0千円	
	地方債		0千円		0千円		0千円		0千円	
	その他		0千円		3,000千円		3,000千円		211千円	
	一般財源		412千円		2,668千円		576千円		1,840千円	
①期間内計画額(R4-7)		14,900千円		②期間外計画額(R8-)		-		①+②総計画額		14,900千円

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	2,210千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	各種講座の実施回数	かめやま健康都市大学で開催した各種講座の年間実施回数	活動	講座	計画値		12	16	16
					実績値		13	22	20
	健都サポーターの育成人数	健都サポーター(かめやま健康都市大学の修了認定を受けた者のうち希望する者)登録名簿者数	成果	人	計画値		55	85	105
					実績値		64	79	84
	健都サポーターの活用回数	健都サポーター会議の出席率(平均)	成果	%	計画値			70	70
					実績値			55	36

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	B	かめやま健康都市大学を令和7年度も引き続き運営し、受講生をはじめとする市民に主体的な健康づくりや健康都市の考え方の浸透を図ることができた。また、新たな取り組みとして大学内にサークル活動を設け、受講生以外にも周知啓発ができた。一方、健都サポーター活動の支援を行うことで、地域の健康活動の拡大に向けた取り組みにつながったものの、健都サポーターの育成人数や健都サポーター会議の出席率は目標値に達しなかった。
	まずまず成果を得た	

事業の対象	事業の目的
亀山市在住または通勤若しくは通学する者(18歳以上)	『緑の健都かめやま』の実現に向けて、市民の主体的な健康づくりや健康都市の考え方の浸透を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	受講者のうち一定数をリピーターが占めることから、健都サポーター数を増やすためにも若い世代や新規受講者の獲得につながるような取り組みの工夫が必要である。 また、健サポ会議の出席率を向上させサポーター間の交流を進めることや、地域と健都サポーターをつなぐ役割を地区担当保健師が積極的に担いながら活動することで、健都サポーターの活動を後押しすることが必要である。

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(拡大)	施策の更なる推進に向け、事業の拡大・充実を図る。
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの 発展コースの更なる充実と拡大に向けた講座を行うとともに、若い世代を受講生に取り込む方策として、ファミリークッキングや、肌の健康に関する講座を新たにオープンキャンパスとして開催し、大学を知ってもらうきっかけを作り、令和9年度以降の受講生獲得を目指す。	令和9年度以降で対応するもの 発展コースとして、「まちづくり」や「協働」などと健康を掛け合わせた講座を設定し、段階的に健康都市大学の範囲を拡大する。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A	A	A	B
事業展開	継続(拡大)	継続(現状維持)	継続(拡大)	継続(拡大)

【履歴】

1次評価者	健康福祉部 健康推進課 健康増進GL 平形 義朗
最終評価者	健康福祉部 健康推進課長 櫻井 ころろ